

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後デイサービス 未来図キララ		回答者数 7名 回答者 7名未満はどちらともいえないに回答、もしくは分からないとの事で回答なし		公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	密にならないように活動場所を分けて活動している	活動場所を分けるにあたり、子どもたちへの説明やスケジュール提示をしっかりと行っていくようにしていきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	児童指導員等は基本4名で対応しています	これまで通り対応していきますが、状況に応じて増員も検討していきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	階段があるため、子どもたちが昇り降りする際にはスタッフが必ず安全確保の上でも付き添うようにしている。その際の情報共有も同時におこなっている	片付ける場所が整備されていないので、子どもたちが自ら片付けられるような、配置転換を進めていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	支援終了後に清掃活動を行い、室内の清潔環境を維持している	子どもたちが目で見て活動場所を確認できるようにしていくことが現在取り組んでいるところです
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別対応の状況が発生した時には、支援で使わない部屋も含めて対応するようにしている	明確な個別部屋の設置はなく、状況に応じて場所を設定しているので、個別の場所の確保を作っていくことが課題としてあります。支援活動を行う場所について、検討していきます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	職員の意見を聞きながら実地にあたっている	職員への周知ができていないところもあり、PDCAサイクルの周知を実施できるように努めていきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者アンケートの内容も踏まえながら、改善点を検討していきます	アンケート結果や保護者様からの意向を踏まえ改善に努めます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月に一回の全体会議を行い意見交換をしています	これまで通り対応していきますが、状況に応じて意見会を開催していきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	実施しませんでした	事業所の自己評価表をもとに改善点の洗い出しをしています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	5	研修の実施が不十分だと思います	障害特性の対しての支援の在り方などを伝えて欲しいとの意見に対し、職員全体に対障害特性を踏まえた内部観衆の機会を作り、さらなる支援向上に向けて取り組んでまいります
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	実施しませんでした	新しく支援プログラムを作成しているため、公表には至っていないが、早急に公表できるようにしていきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	契約時に保護者面談と聞き取り資料並びに定期的なアセスメントを行い支援計画書を作成しています	これまで通り対応していきます
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	事業所内にて担当者会議をおこない、支援計画書に反映させています	これまで通り対応していきます
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員全体会議時に支援についての情報を共有し、同時に振り返りも行っています	これまで通り対応していきます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の様子を書き残すツールを使い、子どもたちの様子を記録しています 行動や支援記録をもとにアセスメントを行い支援に繋がっています	簡略的に使えるツールを現在作成中です そのツールにより日々の活動時の様子を記録として残していきます
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	現在、5領域に基づいた計画書を作成しています	順次5領域に対応した計画書を作成し、支援計画書に従事していきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	支援前にミーティングを行い活動の打ち合わせをしています	状況に応じてその日の対応になることもある 同じ活動になる事もあるので、前もって活動の立案を行っていき、余裕をもって支援にあたるように努めていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	イベントに応じた活動を提供しています 積極的に外出活動を行い季節感を感じてもらえるようなプログラムも提供している	上記と同じように、早めの立案を進める事で 余裕をもって活動を進めていきます

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個々の状況に応じて組み合わせています	これまで通り対応していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	職員間での情報共有は常に行っています	職員間の連絡ツールを使い情報の共有に努めています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	職員間での情報共有は常に行っています 気付いたことは児発管に報告し、全体認識に努めています	職員間の連絡ツールを使い情報の共有に努めています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	記録に関しては職員全体にて行っています 定期的に見直しをしています	これまで通り対応していきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	記録や日々の報告の上で見直しを行っています	これまで通り対応していきます
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発管を中心に担当児童指導員にも会議に参加し、状況理解に努めています	会議に参加しやすいように人員配置を考慮しています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	2	現在、医療機関とは密な連携はしていない	状況に応じて関係機関とは連携ができるように努めています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	事業所利用前に連携機関と情報の共有を行っています	情報は職員間にて共有し、支援に努めています
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	事業所利用前に連携機関と情報の共有を行っています	情報は職員間にて共有し、支援に努めています
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4	助言を受ける機会を設けていない	積極的に助言を受ける機会を作っていきます
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	新規に事業所のため連携できていない	一緒に活動ができる機会を作っていきます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	写真にて使い日々の活動を提示している 送迎時に捕捉状況を説明し、課題の提供後には職員間にて情報の共有を行っています	情報の共有と同時に記録として残していくことも併せて行っています
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2	ご家族が参加できる研修等は現在行っていません	ご家族様への外部への研修案内や、事業所内の研修報告も踏まえ検討していきます
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明することで理解を求めています	これまで通り対応していきます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	6か月に1回面談を行っています	これまで通り対応していきます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	面談時に説明と評価をお話しし、次回の計画に関する指針を決めています	ご家族からの話を十分にお伺いできるように時間を取っている 面談は3月・10月におこなっています
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	その都度対応しています	これまで通り対応していきます
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	保護者会を開催していない	今後はご家族に集まる機会を作れるように検討していきます

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談事業所を通じたご家族からの要請やご家族自身からの要請に順次にお対応できるように人員配置をしています	これまで通り対応していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	SNSを使い情報を発信しています	これまで通り対応していきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	支援活動および関係機関等以外に個人情報を用いないよう注意しています	これまで通り対応していきます
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	お迎え時やお送り時に本日の様子を伝え、話をしやすい環境づくりを心がけています	これまで通り対応していきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	実地していません	実地についてはこれからの課題として検討していきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的にマニュアルを更新し、職員に周知している	ヒヤリハットの情報を集めることで、事故がないようにこれからも努めていきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に避難訓練を行い、状況に応じて計画書の変更しています	これまで通り対応していきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	現在、事業所内での発作が発生していないが、てんかんの基本情報を職員間で共有しています	ご家族からの情報をもとに職員間にて情報を共有しています 基礎知識をこれからも職員に伝えていきます
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	医師からの指示やご家族からの要望をお聞きし対応にあたっています	これまで通り対応していきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	定期的に計画書を確認し、安全に対する意識共有を行っています	目視や実際に使えるのかを定期的に確認し、職員間で情報を共有しています
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	できていないところもある	周知でできない個所もあり、これからの課題として取り組んでいきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	情報は記録として残しています	これまで通り対応していきます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	事業所内にて研修をおこない、対応の見直しをしています	外部研修の機会を作り、職員間の意識のこうじょうを図っていきます
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束の状況はなく支援計画書への記載はしていない	身体拘束への情報の共有を図り、職員間にて必要性を確認していきます 後家族への周知もおこなっていきます	